

海賊版に負けない速さと質で翻訳するには

宮城県仙台第三高等学校 27 班

現在、漫画は日本という国を代表する文化の一つとなった。私達は、先行研究から日本の漫画が海賊版から多大な損害を受けていることを知り、自国の文化を守るためにも普段漫画からたくさん力をもらっている私達が課題解決に取り組む必要があると感じ、翻訳において重要なことをまとめて漫画の英訳を速くすることを考えた。結果として漫画の翻訳を速くするためのポイントは分かったが、問題解決には至らなかったため、今後その真偽を確かめ、世に伝える必要がある。

キーワード：漫画, 国際, 翻訳, 文化

I. はじめに

現在、日本の漫画が持つ影響力は凄まじく、国外においても多数のファンを獲得し、市場の規模は凄まじいものとなった。しかし、近年、アニメや漫画、映画などを著作者や出版社、製作会社などの許可を得ずに複製して、インターネット上に公開するサイトである「海賊版サイト」が現れたことによって、その発展が脅かされている。その被害は、2021 年だけで少なくとも一兆円を超えると推計されており、漫画の売上から見ても、図 1 のように、大きな海賊版サイトの出現と共に伸び率が大きく低下していることが分かる。私達はこの問題に対処したいと考えたが、サイトそのものに対して何かする事は難しいと考え、読み手側の環境を変えることにした。おそらく日本人が海賊版を使って読む理由は、ほとんどが無料で読みたいからであるだろうが、2019 年から 2020 年に海外で行われたアンケートでは、図 2 のように、半数以上が「正式版の翻訳がない」「正式版の翻訳が遅い」と答えていることが分かった。実際に翻訳版が出るまでのタイムラグを調べると、海外でも人気のある「ONEPICE」においては、国内で出版されてから英訳版が出るまでほぼ二年ほどかかっていることが分かった。このことから、私達は翻訳にかかる時間を短くする事で、海外でより多くの人に正式版を読んでもらい海賊版の与える影響を少なくする事にした。そのために、私達は好まれる翻訳方法を調査し、そこからテンプレートのようなものをつくることで翻訳の際にそれに合わせることで翻訳を速くすることを考えた。

若年層向けコミック専門電子書店の対前年伸び率（上代ベース）

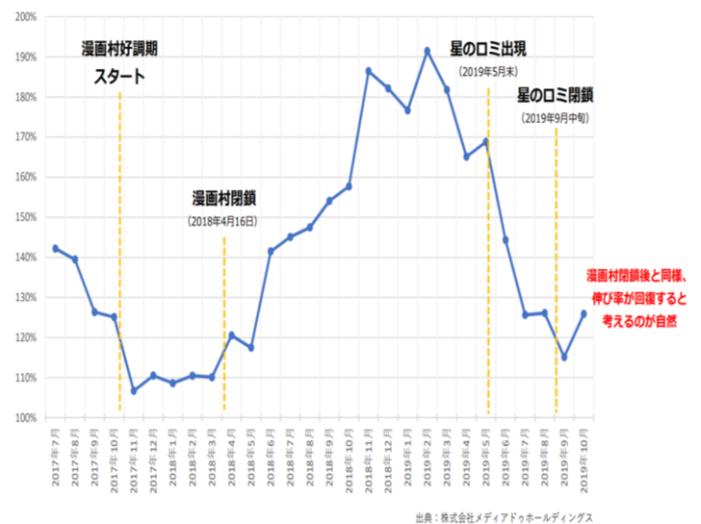


図 1 漫画の売上と海賊版サイトの発生



図 2 注:アンケートは複数選択可だった

II. 研究方法

海外の読者に好まれる翻訳方法や、翻訳で重視する点を調査した。

i) 調査対象について

今回の調査において調査を効率的に進めるため調査対象を、漫画において重要なポイントでありまた翻訳に時間がかかる必殺技に絞った。

ii) 現在使われている翻訳方法の調査

はじめに、現在の漫画の翻訳がどのように行われているかを調べるため、現在流通している漫画の英訳版から、必殺技の表記を抜き出し元の文と比較することで、それがどのように訳されたのかを、直訳、意識、ローマ字、といったように分けた。調査に使用した漫画は、ワンピース、NARUTO、鬼滅の刃、呪術廻戦である。

iii) 自校内におけるアンケート

海外の方にアンケートをとる前に、日本と外国での翻訳に対する考えの違いを明らかにするため、自校内の生徒を対象として、もし英訳された漫画を読むなら必殺技の英訳にはどのようなことが重要であるかを調べた。

iv) 翻訳者の方の意見

京都精華大学で教授を務め、翻訳家としても活動されている、レイチェル・ソーン氏にお話を伺った。

v) 留学生の方へのアンケート

東北大学国際交流団体 IPLANET に所属している留学生の方に、実際に外国の方にとってどのような表記が好ましいのか調べるため、必殺技の表記で重視する点と好みの表記についてのアンケートを行った。

III. 探究内容

次に、先程示した調査の結果を説明する。最初に、現在使われている翻訳方法は、図3のようになった。この表から、現在使われている翻訳方法は直訳、意識が主に使われていて、翻訳方法は一つに絞られていないことがわかった。その次に、校内で行ったアンケートでは、図4のようにフォントサイズ、デザイン、語感の良さを重視する人が多かった。また、その後に伺ったレイチェル・ソーン氏からは語感の良さを重視するのはいいが、ローマ字表記だと意味が伝わらないので良くないという言葉を受けた。

最後に留学生の方に行った、必殺技の表記で重視する点、好みの表記についてのアンケートでは、図5・6のような結果になった。重視する点については、校内でのアンケートと同じように、フォントサイズ、デザイン、語感の良さを重視する人が多く、好みの表記については直訳、意識ではなくローマ字を好む人がかなり多い結果となったが、意識、韻を踏んだ表記を好む人は二つ合わせるとローマ字とほぼ等しかった。

図3 現在使われている翻訳方法

直訳	意識	ローマ字	合計
25	19	6	50

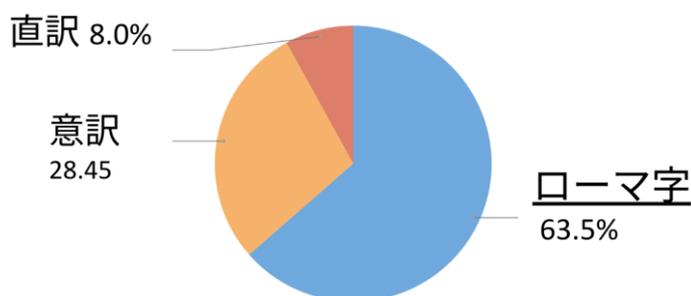


図4 校内のアンケート

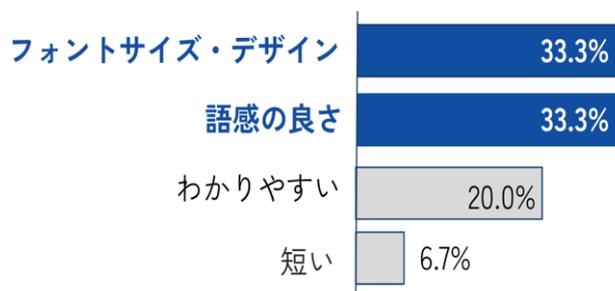


図5 必殺技の表記で重視する点

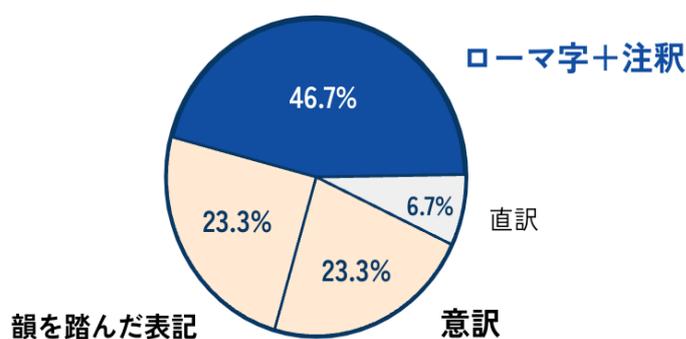


図6 好みの表記

IV. 考察

i) 好まれる翻訳方法について

最後のアンケートの結果から、実際に外国の方に好まれる表記はローマ字であると私達は推測する。しかし、今回の調査から最終的な結果を出すことはできない。その根拠は、今回調査対象としたのは留学生の方のみであり、かなり日本語と関わる機会が多い方たちであるからだ。自分から日本にきて学んでいる方たちにとって好ましいとされる翻訳が、普段日本語との関わりが少ない人にとって好ましいとは限らない。海外に向けて発信するためには、ただ速く翻訳するのではなく日本語との関わりが少ない方にもわかりやすく翻訳する必要がある。その点において、ローマ字は適しているとはいえないだろう。更には、最後に行ったアンケートでは、意識と韻を踏んだ表記の二つを足した割合はローマ字の割合とほぼ同等であった。全体で見るときはローマ字の割合が圧倒的に大きいように見えるが、この二つを好む人もかなり多かったとわかる。とくに、韻を踏んだ表記は、必殺技の表記の重視する点としてあげられた語感の良さというポイントとリンクしていると考えられる。今後の調査においては、さらに調査の母数を大きくし、より外国の方にとって受け入れやすく、好まれやすい翻訳方法を調べる必要がある。

ii) ローマ字を使った表記について

今回の調査において、自校内と留学生を対象にடுத்தアンケートの両方で、ローマ字で翻訳するのが良いと答えた人が一番多かった。そこで、もしローマ字で翻訳を行うとしたらどのような表記で行うべきかを考えた。私が考える案は二つある。一つは、注釈の使用である。意識、直訳とは違って、ローマ字は単体では意味が伝わらないので、意味を補完する注釈が必要である。その際、注釈は元の必殺技の名称やその技で行う動作をわかりやすく翻訳したものになるだろうが、漫画のフキダシ内に入れるか、余白に入れるかなど、注釈を入れるスペースを考えないといけない。そのため、注釈を長々と書くことはできないだろう。二つめは、フォントサイズ、デザインの変更である。表記において多数の人が重視すると答えたフォントサイ

ズ、デザインはこれから先、より読み手にとってインパクトがあり、かつ読みやすいものが求められる。漫画は基本的に白黒であるので、バリエーションには限りがあるので、ページ内で大胆にフキダシを使うなどの工夫が必要だろう。以上二つのことを今回示したが、必殺技の翻訳をすべてローマ字を使った物にするには、やはりある程度の工夫が必要である。

V. まとめ

今回の調査では、ローマ字と注釈の使用が一番好まれる翻訳方法であることがわかった。その際には考察で述べたような、フォントサイズ、デザインの変更や、その他様々な工夫が必要であるだろう。最初に調査した、現在使われている翻訳方法の表と比較してみると、現在ローマ字で翻訳されている数は少ないので、今後ローマ字と注釈のみに変更するのなら、多少は翻訳にかかる時間の削減につながるだろう。しかし実際の成果につなげるには翻訳を行う会社に伝えることが必要である。その上、今回の調査は必殺技という一点においてのみでの調査であり、他にも様々な要素で翻訳には時間がかかっている。したがって、問題を解決できたというには程遠い現状であるので、今後は考察で紹介したようなあらたな調査を進め、企業との話し合いを行い、漫画という文化を守るために、地道に探究してゴールへとむかわなければいけない。日本の漫画は海を越えて MANGA となり、その市場を広げている。情報化が進む現代において、海賊版の脅威は更に大きなものになるだろう。しかし、国内、国外にいる数えきれないファンは、素早い供給さえ行われれば、正規のものを読もうとするはずである。翻訳の速度を上げ、ファンのもとへすぐに届くようになれば、この問題は収束に近づくはずである。

参考文献

- ・海賊版サイトによる被害と 法整備の必要性について

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kondankaito/shingaikontentsu/01/pdf/r1422992_02.pdf

- ・「愛が重い」海賊版漫画サイトを味方に、小学館らの違法対策とは

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/01537/00247/>

- ・侵害コンテンツのダウンロード違法化

http://www.lib.kobe-u.ac.jp/repository/90008532_noprint.pdf